

# 城北



令和2年1月1日 現在	
総世帯数	3,667
総人口	7,851
男	3,732
女	4,119



伝承・しめ縄作り

## 福澤伸起さん



しめ縄(しめは占めるの意)は神前や神事の場に不浄なもの、の侵入を禁ずる印として張る縄で、けがれを除き、その場を神聖に保つ意味もあり、三筋・五筋・七筋の間に紙垂を下げます。

しかし、最近では年神様をお迎えする新年の門戸に飾り付ける門松や松飾り、しめ縄飾りも昔と比べると減り、寂し

い正月風景に変わりました。

深志ヶ丘町会在住の福澤伸起さんは十歳から御嶽山に登り、滝に打たれて修行を重ねて御嶽神社の神職(現在は参与)になられ、幼い頃に覚えた経験を生かして二十一年間にわたり、毎年城北公民館で伝統文化講座のしめ縄作りの講習会を開いております。

大勢の参加者の皆さんにその技術を熱心に手取り教え、貴重な伝統文化を伝承して、しめ縄・輪じめ・やす・ごぼうじめなども作っています。

また、他地区の公民館活動などにも参加尽力されています。

今年も十二月十七日に開催され、木曾産の三段松や、稲わらをすき、水にさらし、さら



に柔らかくするために板槌で叩いた、手作り材料が準備されており、全員が円座になり作業を始めました。毎年参加する方の中には女性も多く二年に一度だから、左巻縄も難しく作り方を忘れてしまうことも多いが、回を重ねる事にだんだんとコツを覚えまして「と見事な手さばきで作り上げて「これで良いお正月が迎えられるます」とにっこり笑って満足そうでした。

経験豊富で人に接する際は和を大切に「何事にも明るく・楽しく・元氣よく・前向きに」プラス志向が「 Motto」の福澤さんは、誰にも愛される城北地区の貴重な存在です。

和氣あいあいの中で古き良き時代を思い忍ばせる、人情味あふれる福澤さんのしめ縄作り講習会は、伝統文化を次の時代につなげる架け橋だと感じました。

## 沢村児童センター クリスマス会



しみました。その後、「あわてんぼうのサンタクロース」の歌に合わせて踊ったりして大盛り上がりでした。

楽しみのおやつは、毎年地域ボランティアの方々が作ってくださいます。クリスマス雰囲気たっぷりのおやつにみなさん笑顔になりました。

作ってくださったボランティアの方は「小さい子でも食べられる事、健康に配慮した食材、お母さんにも楽しんでもらえるおやつを考えて作りました」と話していました。

蟻ヶ崎台の1才児と参加したお母さんは「同じ年齢の子供たちと楽しめ、ゲームも先生たちの工夫があり、おやつも美味しく、親子共に満足でした」と話していました。

沢村児童センターで行なわれている未就園児とその保護者の方が自由にきて遊べる場所「つどいのひろば」で12月18日、14組の親子が参加してクリスマス会が開かれました。

読み聞かせのボランティア活動をしている「りんごの会」の絵本、パネルシアターの話を興味津々に聞いていました。

サンタクロースが、プレゼントを届けに登場すると、子供たちはびっくりしながらもここに顔になりました。

2組に別れ、お母さんがトナカイ役になり、ダンボール箱で作ったソリに子供を乗せツリーの飾りつけのゲームも楽







# 城北地区の 年末年始

